

## 「小・中・高・大が連携した課題解決によるグローバル人材の育成」

東京都文京区の大塚地区にある筑波大学の附属3校（小・中・高）と筑波大学は、連携した教育研究を行っている。附属小学校、附属中学校では、自ら考え発表する学習が多く取り入れられており、この基礎が附属高校での課題解決学習に繋がっている。又、附属小学校には「英語」の専科教諭が配置され、附属中学校と附属高校の英語学習においては、大正11年（1922）に来日した H.E.Palmer が提唱し、本校で実践したオーラルメソッドの伝統を受け継ぎ、「話す」「聞く」を重視した授業が展開されている。

### SGHを通してこういう生徒に育ってほしい

- (1) 専門性と教養
- (2) 問題解決力
- (3) コミュニケーション能力とプレゼンテーション能力
- (4) 主体性と協調性
- (5) 異文化理解の柔軟性と日本人としてのアイデンティティ
- (6) 高い語学力
- (7) 議論する力
- (8) 地球規模の視点



### 本校の2本の柱

- I **SGH スタディ**（全生徒対象） → グローバル・シチズン（地球市民）の育成  
 II **SGH プログラム**（意欲的生徒対象） → グローバル・リーダー（さまざまな分野で世界を牽引するリーダー）の育成

### 2本の柱の概要と現在

#### I SGH スタディ

**1 学年** 研究のための基礎的な技能の修得

【1年間の学習内容とコマ数】	
ガイダンス	1
科学の考え方	3
統計的なものの見方・考え方	3
データの収集	3
データの分析	3
書籍等による情報収集	3
プレゼンテーションタイトルの作成	3
グループでの活動方法を考える	3
アカデミック・ライティング	3
予備日（講演等）	2
SGHスタディ(2年次)に向けて	1
計	28

**2・3 学年** 課題研究

グループまたは個人でグローバルな課題を発見し、課題に関する調査・研究を行い、議論をし、解決法を発表・提案。
<b>第1分野 オリリンピック・パラリンピックにおける諸課題</b>
・「フリースローと心理状況。応援の有無によるプレーの質の違い」
・「オリンピックのボイコットと歴史の関連性」 など
<b>第2分野 地球規模で考える生命・環境・災害</b>
・「環境問題を利用した花の染色」
・「宇宙線が生態系に与える影響」 など
<b>第3分野 グローバル化と政治・経済・外交</b>
・「なぜ日本の起業率は他の先進国と比較して低いのか」
・「日本は外国からどう見られているか？」 など

※1 学年は、8人の教員で担当し、1ターム3時間で授業を構成し、各クラスの持ち回り授業を行っている。

#### II SGH プログラム 2015 年度実施

- 1) **シンガポール短期留学** 2015 年 12 月来日 2016 年 3 月下旬シンガポール訪問予定  
シンガポールの Hwa Chong Institute との相互短期留学でホームステイをしながら授業を体験する。6名の代表生徒が参加。
- 2) **日中相互交流** 2015 年 7 月来日 10 月訪中  
日中の高校生が互いの国を訪問し、交流イベントやホームステイを体験する。本校から 30名の生徒が参加。
- 3) **アジア太平洋ヤングリーダーズサミット (APYLS)** 2015 年 7 月 20 日～7 月 28 日  
シンガポールの Hwa Chong Institute で行われる APYLS に 2 年生 3名の代表生徒が参加。  
※昨年度の本校代表は「高齢化社会」について提案した。
- 4) **国際学術シンポジウム(IAS)** 2015 年 7 月 20 日～7 月 24 日 (M e r s の為中止。国内にてプレゼン発表会開催)  
韓国 Hana Academy Soul で行われる International Symposium に 2 年生 3名の代表生徒が参加。  
※昨年度の本校代表は「災害教育」について提案した。
- 5) **The University of British Columbia (UBC) 研修** 2015 年 8 月 2 日～8 月 14 日  
カナダの UBC で行われる大学体験プログラム。世界中から集まる高校生と諸課題についてグループプレゼンとディスカッションを行う本校独自のプログラム。23名(2, 3 年生)の代表生徒が参加。
- 6) **国際ピエール・ド・クーベルタン・ユースフォーラム** 2015 年 8 月 27 日～9 月 6 日  
100名強の高校生が 2 年に一度世界中から集まり、近代オリンピック創始者の思想ーオリンピズムーを講義や討議、スポーツ交流や芸術プログラムなどを通して学ぶ。本年は、日本代表 7名のうち 3名(2, 3 年生)が本校生。